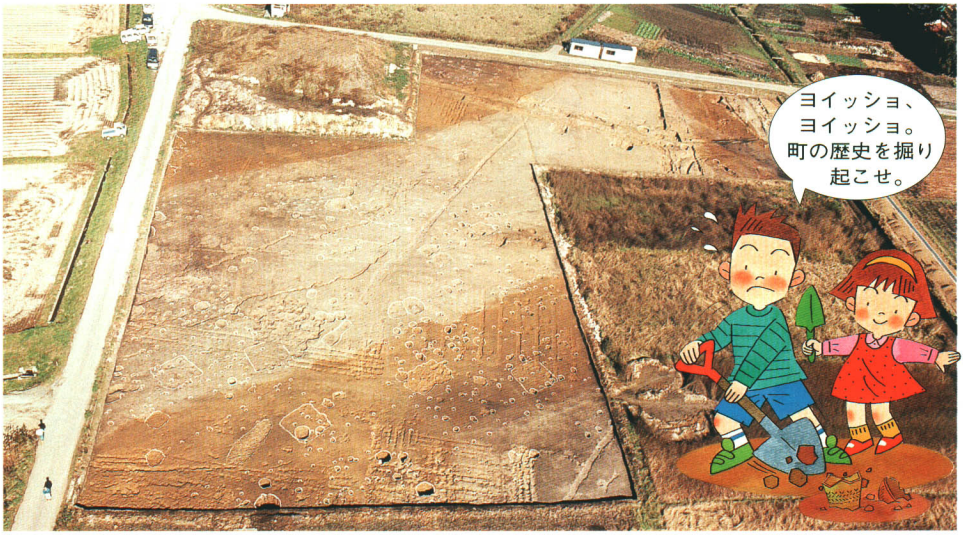
㉙観音屋敷跡（堅田・入江村前　入江欠前　牛沼村前）

白鳥浜北側の水田に立地する平安時代前期の集落跡で、一町四方の区画溝や掘立柱建物跡・竪穴住居跡と共に土師器・須恵器など当時の生活用品も多数発見されています。建物跡は3間×2間の母屋と2間×2間の倉庫が多く、その柱穴には柱材がそのまま残っているものもあり、クリ材が多く用いられていました。また土器の表面には「万福・吉集・上万・十万・万・鏡」などの字を描いた墨書土器も区画溝より多数出土しています。

土器に書かれた文字

㉚三城潟家北遺跡（三ッ和・家北　村前）

翁島小学校北側の水田に立地する平安時代前期の集落跡で、多数の竪穴住居跡や掘立建物跡が検出されています。出土遺物は土師器・須恵器の他にも東海地方より搬入された灰釉陶器、北陸・北関東地方の影響を受けた弥生末～古墳初頭に属す土器の出土があり、当時他地域との交流が既にあった事が分かります。



耶麻郡の初見『続日本後紀』承和七年(840)三月四日の条
「陸奥国耶麻郡大領外正八位上勲八等、丈部人麿戸一烟、賜姓上毛野陸奥臣」